

《 Press Release 》

＜開催場所 変更＞

令和 6 年 9 月 12 日

株式会社加賀田組

国交省大河津分水路工事において

「無人・遠隔操縦・全天候型ドローンドックシステム」 デモンストレーション

令和 6 年 10 月 29 日

＜建設 DX 大河津分水路工事での活用に期待＞

株式会社加賀田組（本社：新潟市/社長：市村 稿）は、無人・遠隔の自動ドローンシステムについて、県内で初めて大規模土木工事への実装に向けた検証・デモンストレーションを行います。



建設 DX は、各種工事・工種においてドローン等の 3D 測量、ICT 施工、3D モデリング、AR/VR などの様々なデジタル技術が投入され、少人化・品質向上・ワークライフバランス・工期短縮など、相反する課題を解決するために国土交通省・業団体・関係企業で強く推進されています。

大河津分水路工事は明治 42 年に本格着工。大正期には様々な土木技術が駆使されたことから「東洋一の大工事」と称されました。令和 4 年には通水 100 年を迎え、メディアでも取り上げられたことは記憶に新しいと思います。現在も「令和の大改修」として工事は継続中で、課題解決のために様々な建設 DX の取り組みが試行されており、全国的に注目を集めている工事現場です。

その大河津分水路工事における「現場に作業員は立ち入らない」「遠隔からいつでも天候に関係なくドローンを自動飛行させる」「ドローンが収集した情報は関係者に即時共有される」という初の試みには、国土交通省北陸地方整備局も大きな期待を寄せています。

＜出典＞

■国土交通省「DX に向けた取り組み」

<https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001587783.pdf>

■国土交通省北陸地方整備局「大河津分水通水 100 周年」

<https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu100th/ohkouzu100th.html>

■国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所「なるほど信濃川」

https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/shinanogawa_info/naruhodo/suiro.html

■特定非営利法人にいがたデジタルコンテンツ推進協議会「土木シリーズ」

<https://www.niigata-digicon.com/activity/cc.html>

日時場所

■日 時 : 令和6年10月29日(火) 13:30~16:30(雨天決行) ※受付 13:00~

■場 所 : 燕市分水公民館 大ホール (燕市分水新町 2-5-1)

※上記は運航指令室です。ドローン飛行場所(車で 10 分程度)への取材は申込時にご記入ください。

※ドローン飛行場所への取材が困難な場合は、飛行画像(jpg)/映像(MP4)を当日にご提供します。

■注 記 : 実施場所は管理区域のため、お手数ですが取材は下記お申込み先へ事前にお申込みください。



<MAP>

実施体制

■主 催 : 株式会社加賀田組 (大河津分水路 渡部地区低水路掘削及び護岸その5 工事 受注者)

■企画運営 : 金井度量衡株式会社 (DJI ENTERPRISE 特約店)

■技術協力 : 株式会社 NSi 真岡 (DJI 代理店/Sier)・DJI JAPAN 株式会社 (メーカー)

■アドバイザー : 一般社団法人全国建設産業団体連合会 UAV 事務局マネージャー安田晃昭 (株式会社安田測量・株式会社 AIC)

■後 援 : 特定非営利法人にいがたデジタルコンテンツ推進協議会

デモンストレーション システム

■メーカー : DJI JAPAN 株式会社(ディージェーアイ ジャパン)

■システム : DJI DOCK2(ディージェーアイ ドックツー) DJI FLIGHT HUB2(ディージェーアイ フライトハブツー)

■詳細 URL : <https://enterprise.dji.com/jp/dock> <https://www.dji.com/flighthub-2>

■解 説 :

『DJI DOCK2 はドローンを無人/自動で運用する簡易常設型のドローンドックです』

自動離着陸、自動充電で遠隔運用され、高い IP 保護等級により過酷な環境でも耐えうる仕様です。

また、風速計等により飛行可否判断できる安全機能も備わっています。

『DJI FLIGHT HUB2 は複数のドローンと複数の管理者や操縦者をつなぐ「HUB システム」です』

このサービスは堅牢なセキュリティレベルのクラウドサービス (アマゾン AWS) で提供されます。

サービスに登録された DJI DOCK2 やドローンは遠隔運用され、PC やスマホ等でモニタリングできます。

また、取得した画像等の遠隔からの回収/共有も可能です。

これらシステムは、常時運用や繰り返し作業、情報収集の即時性や共有が求められるシーンで効果的であり、少人化と効率化の両立、少人化による労災リスクの低減、技術者に依存しない技術品質の平準化等が見込めます。

取材のお申込み・お問い合わせ先

■金井度量衡株式会社(カナイドリョウコウ) [担当者] 吉田雄一 [mail] event@kanai.co.jp

・お申込み方法 : 以下の必要事項をご記入の上、メールにてお申込みください。

メール件名 : 大河津分水 ドローン取材申し込み

メール本文 : ①会社名 ②ご氏名 ③取材来場者数

④連絡先(当日連絡が取れる番号) ⑤お問い合わせ事項

・お申込期限 : 令和6年10月18日(金)

・お 願 い : 会場の都合上、お申し込み多数の際は取材をお断りする場合がございます。

予めご了承ください、早めのお申込みにご協力くださいますようお願い申し上げます。



<イベント詳細>